



美東小だより



【学校教育目標】

「ふるさと美東を愛し 夢や目標に向かってたくましく生きる子どもの育成」

令和8年度につなげる～0学期の「準備力」～

三寒四温の時期ですが、ぬくもりのある陽ざしやさわやかな風が春の気配を感じさせてくれます。早いもので、卒業式そして修了式まであと僅かとなりました。3学期始業式で児童たちに、今学期は、進学・進級への「準備」の期間であると話をしています。

ミラノ・コルティナオリンピック2026が先日閉会し、パラリンピックが始まります。数々の感動を与えてくれたオリンピックですが、スピードスケート女子代表で本大会を含め10個のメダルをとった 高木 美帆 選手が以前インタビューで次のように語っています。

目標に向けて、『今できること』『今しかできないこと』をじっくり考えて、進んでいく。

児童たちは、学校はもちろん、家庭や地域で多くのことを学んでいます。「今できること」「今しかできないこと」を大人と一緒に考えて、一步でも夢や目標に近づくことができるようにこれからもサポートしていきたいと思います。引き続き、地域・保護者の皆様方のお力添えをお願いします。

今年度最後の参観日～児童の成長している姿～

2月20日(金)、今年度最後の参観授業を行いました。

この日は、5校時の授業を参観していただきましたが、午前中に4年生は「10才のつどい」を行いました。これまでの自分をふり振り返り、自分のよさに気づき、どのような人になりたいかを発表しました。また、これまでお世話になった親に手紙を渡したり、全員で歌を歌ったりするなど心温まる会となりました。

ひと回り大きく成長した姿に保護者の方も喜ばれていました。

他学年の授業でも、児童一人ひとりが頑張っ発表する姿がありました。1,2年生では「この1年間でできるようになったこと」、3年生は「お気に入りの校舎内の場所」、6年生は「夢や目標」を伝えていました。5年生は、親にフルーツポンチをふるまって、グループに分かれ親子で語り合いました。



4年生「10才のつどい」合唱

感謝の手紙を渡す4年生



6年生の「夢や目標」の発表

1年生の「1年間の成長」の発表

「10才のつどい」を参観して、子どもの成長を目の当たりにしました。特に、今年度は、美東小の開校にあたり、大きく環境も変化した1年間でした。子どもなりにさまざまな戸惑いもあったと思いますが、仲間と共にたくましく成長していく姿に感動しています。親として、これからはしっかりサポートしていきます。

[4年生 保護者より]

後期学校評価アンケートのご協力ありがとうございました

～地域・保護者の皆様からの評価そして児童の思いを美東小2年目へつなげる～

1月中～下旬、学校運営協議会委員・保護者・児童・教職員対象に「後期学校評価アンケート」を実施しました。このアンケート結果をもとに、教職員で分析・検討しました。さらに、2月24日（火）に開催した第3回小中合同学校運営協議会で意見をいただいた内容を含め、令和8年度の学校運営に役立てていきます。ご協力いただきありがとうございました。



学校運営協議会の様子

以下、「まなび」「そだち」「こころ」の視点で結果及び検討した内容を紹介します。

【まなび】自ら課題を見つけ、計画的・継続的に取り組むことができる

児童：課題解決に向けて、粘り強く取り組んでいる。

あてはまると回答した割合

前期 39.1% ⇒ 後期 47.2%

保護者：お子さんは、学習課題の解決に向けて、計画的に粘り強く取り組んでいる。

肯定的(あてはまる・だいたいあてはまる)回答の割合

前期 73.9% ⇒ 後期 65.0%

児童の結果から、自由進度学習など課題発見型の学習を通して、学習意欲の高まりや粘り強く課題に取り組もうとする様子が伺える。一方で、保護者の肯定的な回答の割合は下がっている。学校での学びと家庭学習に連続性や系統性をもたせ、学びの定着を図っていく手立てが必要である。

【そだち】メディアの使用等と健康とのつながりを考えて自己管理ができる

児童：「早寝・早起き・朝ごはん」「メディアの使い方の約束を守る」など、よりよい生活習慣づくりに取り組んでいる。

肯定的(あてはまる・だいたいあてはまる)回答した割合

前期 82.8% ⇒ 後期 84.9%

保護者：家庭では、「早寝・早起き・朝ごはん」「メディアの使い方の約束を守る」など、よりよい生活習慣づくりに取り組んでいる。

肯定的(あてはまる・だいたいあてはまる)回答の割合

前期 79.7% ⇒ 後期 72.5%

年に2回、自己目標を設定して「こぶっちゃん生活習慣チャレンジ」を実施したことを機会に、よりよい生活習慣づくりを意識して取り組んでいる児童が多くなった。また、児童生徒が啓発活動を行うことで「メディアの使い方」「睡眠の大切さ」など、自分事として考えて生活できている成果である。今後も家庭・地域と連携を図った取り組みを推進していきたい。

【こころ】学校に行くのは、楽しい

児童：学校に行くのは、楽しい。

肯定的(あてはまる・だいたいあてはまる)回答した割合

前期 87.2% ⇒ 後期 90.6%

保護者：お子さんは、「学校が楽しい」と言っている。

肯定的(あてはまる・だいたいあてはまる)回答の割合

前期 86.9% ⇒ 後期 90.0%

児童と保護者の結果から、肯定的な回答の割合は高い。統合した1年目で「仲間づくり」を基盤とした学級経営や児童のチャレンジ目標「相手のことを考えて行動する」が実を結んでいる。しかし、少人数ではあるが、不安や悩みを抱えている児童もおり、教育相談の充実を図ったり、自己有用感を味わわせたりする取り組みを強化していきたい。



「節分」豆まきを終えて